

いきいき

# 家畜衛生ネット

第 **132** 号

2020年 秋



農林水産総合センター畜産研究所のコスモス

## ～ 衛 生 情 報 ～

- 飼養衛生管理者制度の新設について
- 飼養衛生管理基準改正のポイントについて解説します
- 発生させない、拡げない  
～岡山の畜産を一緒に守っていきましょう～
- 再確認！鳥インフルエンザウイルスの侵入防止対策
- コロナウイルスによる家畜・家禽の病気

## ～ そ の 他 ～

- 畜産研究所から明日へつながる系統を！



岡山県マスコット「ももっち」

### <連絡先電話番号>

農林水産部畜産課 : 086-226-7431      岡山家畜保健衛生所 : 086-724-3880  
井笠家畜保健衛生所 : 0866-84-8221      高梁家畜保健衛生所 : 0866-22-2077  
真庭家畜保健衛生所 : 0867-44-2231      津山家畜保健衛生所 : 0868-29-0040  
農林水産総合センター 畜産研究所 : 0867-27-3321

### 《発行》

岡山県農林水産部畜産課 <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/53/>  
(原稿を掲載しています)



## 飼養衛生管理者制度の新設について

一昨年から国内で続発している豚熱（CSF）やアジア地域における口蹄疫（FMD）、鳥インフルエンザ（HPAI・LPAI）の発生を受けて、令和2年4月3日に家畜伝染病予防法の一部が改正されました。

この中で新たに、家畜の所有者は原則として衛生管理区域ごとに飼養衛生管理者を選任することが義務づけられましたので、制度の内容についてご説明します。

### 飼養衛生管理者とは？

衛生管理区域における飼養衛生管理の責任者のことです。所有者自らが飼養衛生管理者となることも可能ですが、実際に管理している必要があります。また、飼養衛生管理基準の内容を熟知している必要もあります。

### 衛生管理区域とは？

病原体の侵入やまん延を防止するために農場に設定している区域のことです。一般的には、畜舎やその周辺の飼料タンク、飼料倉庫及び生乳処理室等を含む区域のことをいいます。

### 飼養衛生管理者は何をすれば良いの？

#### 1 衛生管理区域に出入りする人の管理（チェック・指導等）

衛生管理区域に出入りする従事者や運送業者が、衛生管理区域に入る際に、靴を履き替えて消毒しているか等のチェックを行い、出来ていない場合には指導します。

#### 2 従業員への飼養衛生管理基準の周知等

飼養衛生管理者は、県等が開催する飼養衛生管理に関する研修会に積極的に参加して理解を深めていく必要があります。さらに、そこで得た情報に基づき、従業員に指示や指導を行います。

#### 3 国や県から提供される家畜衛生に関する情報を踏まえた対応

伝染病発生時等に、発生概要や農場がとるべき対策等の情報が直接飼養衛生管理者にメール等で提供されます。飼養衛生管理者はその情報に即して、ご自身の農場で対応する必要があります。

飼養衛生管理者について、ご理解いただけましたでしょうか？飼養衛生管理者は衛生管理区域の責任者ですので、次のページの飼養衛生管理基準について熟知していなければなりません。この飼養衛生管理基準に関しても改正が行われ、一層強化された内容になりました。家畜・家きんを伝染病から守るため、しっかりと衛生管理を行いましょう。

（津山家畜保健衛生所）

# 飼養衛生管理基準改正のポイント について解説します

豚の飼養衛生管理基準が改正（令和2年3月9日付け、7月から適用）されたことについて第130号（春号）でお知らせしましたが、その他の家畜（牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬、鶏その他家きん）についても同年6月30日付けで改正され、10月から適用されます。今回は、改正された中で、変更・新設された内容について簡単に解説します。

**【変更】 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践**  
(対象：牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬、豚、いのしし、鶏その他家きん)

## <概要>

飼養している家畜が感染する伝染性疾病の発生及びまん延防止について、家畜保健衛生所から提供される情報を必ず確認し、農林水産省のHP等を通じて、家畜防疫に関する情報を積極的に把握する必要があります。

また、農場の防疫体制及び飼養衛生管理状況を定期的に点検し、改善する必要があります。

さらに、農場の最新の飼養衛生管理状況を確認し、家畜保健衛生所や臨床獣医師等関係者と共有できるように、消毒設備等の衛生対策設備の設置場所を記入した農場の平面図を作成し、備える必要があります。

## <注意事項>

消毒設備等の衛生対策設備の設置場所を明示した農場の平面図を作成して下さい。

**【新設】 飼養衛生管理マニュアルの作成、農場従事者等への周知徹底**  
(対象：牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬、豚、いのしし、鶏その他家きん)

## <概要>

飼養衛生管理に関する作業（消毒等）の手順を明確にし、所有者、従業員、外部事業者等農場に立ち入る全ての人が適切な手順で作業を行うために、次の10点の

事項について記載されたマニュアルを作成する必要があります。

- ①農場以外での動物の飼養等における禁止事項
- ②海外渡航時及び帰国後の注意事項
- ③海外からの肉製品の持ち込み
- ④農場内への不適切な物品の持ち込みの禁止
- ⑤工具、機材等を農場内へ持ち込まないための取り組み
- ⑥持ち込む工具、機材、食品等の取扱い
- ⑦猫等の愛玩動物の衛生管理区域内での飼育禁止
- ⑧野生動物の衛生管理区域内への侵入防止
- ⑨農場における防疫のための更衣
- ⑩手指・靴・車両等の洗浄及び消毒方法等

また、マニュアル作成に当たっては、獣医師等専門家の意見を反映させ、農場従事者や外部事業者が当該マニュアルを遵守するよう冊子の配布、注意事項を示した看板の設置などをお願いします。

【施行期日】豚、いのしし：令和3年4月

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬、鶏その他家きん：令和4年2月

### <注意事項>

従業員がおらず、所有者のみで管理している農場でもマニュアルを作成する必要があります。

### 【新設】 放牧制限の準備

(対象：牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし)



### <概要>

家畜伝染病が発生し、法律に基づく放牧の停止又は制限があった場合に備え、家畜を収容できる避難用設備の確保又は出荷や移動のための準備をしておく必要があります。

【施行期日】豚、いのしし：令和3年4月

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊：令和3年10月

### <注意事項>

避難用の設備とは、柵による囲い込み設備やビニールハウス等が挙げられます。柵などの現物は保有していなくても、速やかに入手できるようにしておいてください。

また、豚、いのしし等の放牧について、野生動物が豚熱等の家畜伝染病に感染したことが確認されているなど発生リスクが高まっている地域では、放牧場の給餌場所における防鳥ネットの設置も必要です。

#### 【変更】 飲用水の給与

(対象：牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬、豚、いのしし)



### <概要>

飼養する家畜に水道水等の飲用に適した水以外の水を給与する場合には、消毒する必要があります。

### <注意事項>

鶏その他家畜以外の家畜でも、飲用に適した水以外の水（ため池や沢水等）を給与する場合には、消毒が必要になりました。水道水以外を利用している場合は、滴下式の塩素消毒などで消毒しましょう。酪農では消毒装置設置に対する助成事業（※）もあるので、ご活用ください。

今回、改正された飼養衛生管理基準の主な内容について簡単に解説しましたが、これ以外にも複数の項目が改正されています。詳細については今一度、飼養衛生管理基準を確認し、最寄りの家畜保健衛生所へご相談ください。（※助成事業のお問い合わせは最寄りのおからく事業所へお願いします。）

農林水産省 HP 「飼養衛生管理基準について」

URL：[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_shiyou/](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/)



(井笠家畜保健衛生所)

## 発生させない、拡げない ～岡山の畜産を一緒に守っていきましょう～

今回の号では飼養衛生管理基準の改正内容に関し、家畜を飼育している皆さんに守っていただきたいことを掲載しました。家畜伝染病の感染を防止するためには、皆様に飼養衛生管理基準を守っていただくことが非常に重要です。家畜保健衛生所では、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認のために定期的に農場訪問を行っています。

それでも万が一、家畜伝染病の発生があった場合に迅速に初動対応やまん延防止対策が行えるよう、家畜保健衛生所では以下のような家畜伝染病発生に備えた「対応力」を日々強化しています。

### 家畜保健衛生所での備え

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守状況の確認（図1）
- ・ 家畜伝染病発生時の防疫体制の見直し
- ・ 農家ごとの防疫計画の作成・改訂
- ・ 初動対応等の所内訓練（図2）
- ・ 岡山県下で関係機関と連携を取り合った防疫演習（図3）



図1 遵守状況確認



図2 初動対応訓練



図3 着脱演習の様子

飼養衛生管理基準について分からない事があれば、お気軽に近くの家畜保健衛生所にご相談ください。一緒に考え、日々の管理を徹底し、伝染病の発生を防いで、岡山の畜産を一緒に守っていきましょう！

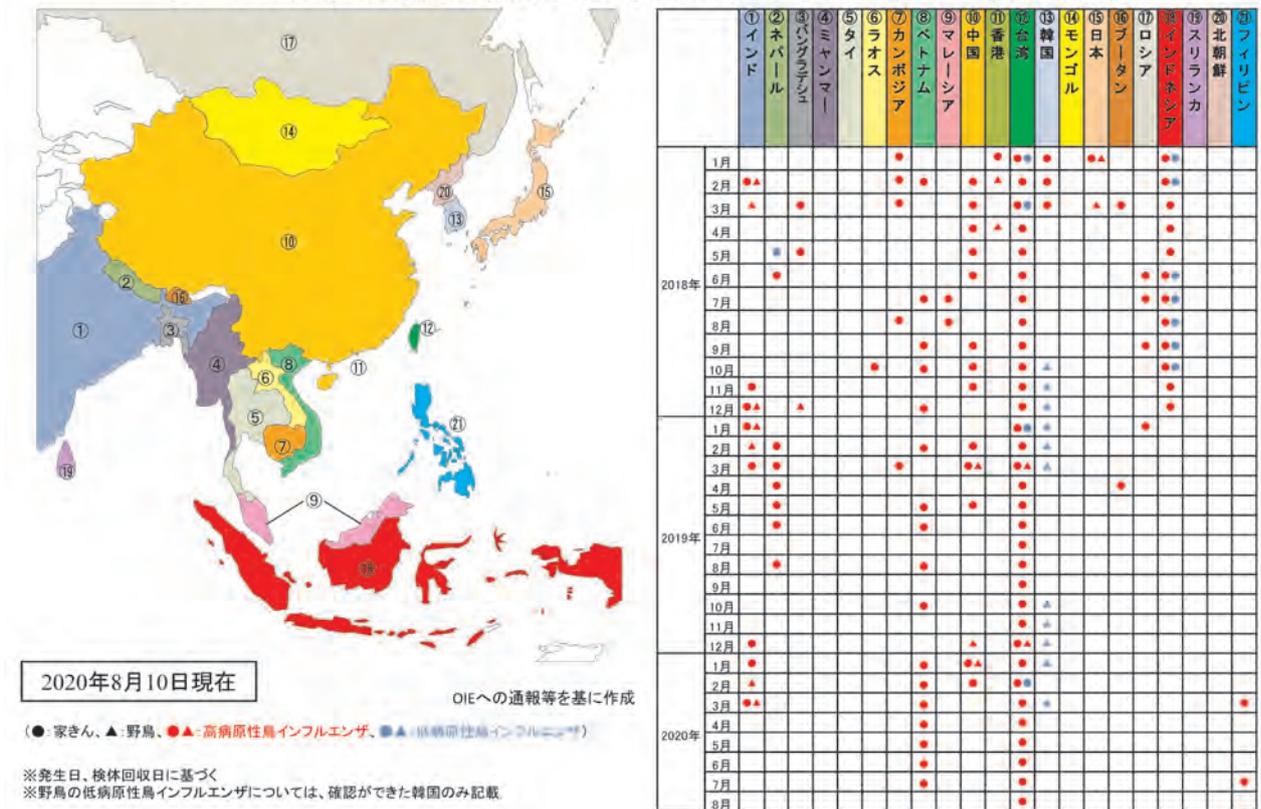
（高粱家畜保健衛生所）

再確認!

## 鳥インフルエンザウイルス の侵入防止対策

渡り鳥の飛来する季節が近づいてきました。昨年度は高病原性鳥インフルエンザの国内発生はありませんでしたが、アジアでは以下のとおり引き続き発生しており、いつ国内に本病のウイルスが侵入してもおかしくない状況が続いています。また、低病原性鳥インフルエンザウイルスは、昨年度行われた環境省の野鳥糞便調査により、新潟県及び鹿児島県で確認されています。

アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況



( 出典：農林水産省HP <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> )

農場を守るためには、鳥インフルエンザウイルスが国内に侵入する前に農場の衛生対策を再確認することが大切です。

ウイルスの農場内・家きん舎内への侵入防止のポイントは、**人・車両・野生動物によるウイルスの持ち込みを防止**することです。具体的な例を次に示しているので参考にしてください。

## ウイルスの侵入防止対策の例

### ① 関係者以外の立入の制限



立入禁止看板と外来者用駐車場



衛生管理区域外に宅配・郵便物用の箱を設置

### ② 車両・人の消毒の徹底



動力噴霧器による車両消毒



踏み込み消毒槽・家きん舎ごとの長靴・手指用消毒薬の設置



### ③ 野鳥・野生動物の侵入防止



防鳥ネットの設置と点検



除糞ベルトの搬出口に蓋を設置

これらの予防対策は飼養衛生管理基準に基づいています。今一度、飼養衛生管理基準の内容を確認・実行し、鳥インフルエンザウイルスの侵入を防止しましょう。  
(真庭家畜保健衛生所)

## コロナウイルスによる家畜・家禽の病気

新型コロナウイルス感染症の流行により注目が集まっているコロナウイルスですが、畜産分野では、古くから病気を起こす病原体として知られています。

今回は、家畜や家禽に大きな経済的損失をもたらす主要なコロナウイルスによる疾病についてご紹介します。



### 牛コロナウイルス病

牛コロナウイルスの感染によって寒い時期を中心に発生する下痢を主徴とする急性疾病です。発咳や鼻汁などの呼吸器症状を併発する場合や、呼吸器症状のみの場合もあります。経口・経鼻感染し、糞便中や鼻汁に排出された大量のウイルスが敷料、長靴、水、器具機材などに付着してまたたく間に牛舎全体に感染が広がります。

**症状** 子牛：寒冷ストレスや、牛ロタウイルス病・大腸菌症などとの混合感染で下痢が重篤化し、死亡することもあります。

成牛：死亡するものはまれですが、泌乳量減少や泌乳停止が起こり大きな経済的損失をもたらします。血液が混ざる便を排出することがあります（冬季赤痢）。

- 予防**
- ・畜舎の清掃と消毒を徹底し、密飼いを避けます。
  - ・子牛はカーフハッチなどを活用します。
  - ・新生子牛に対しては、分娩前の母牛へワクチン接種を行い、子牛へ十分に初乳を給与することで予防します。



### 豚流行性下痢

豚流行性下痢ウイルスの感染によって起こる豚の急性伝染病です。糞便を介して経口感染し、一度農場内へ侵入すると急速に拡大します。

**症状**

- ・食欲不振、元気消失、激しい下痢や嘔吐などの症状が見られます。
- ・育成豚では軟便にとどまり、約1週間程度で回復しますが、10日齢以下の哺乳豚では、脱水症状などにより高率で死亡します。

- 予防**
- ・人や車両の農場への入場制限や、徹底した消毒が有効です。
  - ・農場内のウイルス拡散を防止するため、衣服・履物の交換、作業動線の整備などの対策をとることも重要です。
  - ・母豚用ワクチンの接種による予防も効果的です。

### 豚伝染性胃腸炎

豚伝染性胃腸炎ウイルスの感染によって起こる嘔吐と水様性下痢を主症状とする豚の急性伝染病です。

- 症状**
- ・ウイルス感染後1～3日の潜伏期間を経て激しい水様性下痢を示します。
  - ・育成期以降の成豚は回復する場合がありますが、若齢豚は脱水により死亡することがあり、回復した場合も発育不良を示すことがあります。
- 予防**
- ・豚流行性下痢の予防対策と同様の対策を行います。



### 鶏伝染性気管支炎

鶏伝染性気管支炎ウイルスによって起こる鶏の急性感染症で、致死率は低いものの全国的に発生しています。感染した鶏の鼻汁、涙、口腔粘液、糞便に多量のウイルスが含まれており、空気伝播のほか、ウイルスに汚染された器具や人などへの付着、または、感染鶏の導入によって養鶏場に持ち込まれます。

- 症状**
- ・感染しても鶏は軽い症状を示すか、症状を示さずに終わることが多いのですが、様々なストレスや他の病原体との混合感染によって臨床症状を示すようになります。
  - ・呼吸器症状が一般的ですが、腎臓や生殖器にも障害を与え、育成率や飼料効率の低下、産卵率の低下や卵質の劣化等により経済的損失となる場合があります。
- 予防**
- ・農場や地域、流行に合ったワクチンの選択により予防します。



これらのコロナウイルスは、農場内に侵入すると急速に感染が拡大し、沈静化させることが容易ではないため、農場内へのウイルスの侵入防止対策を充実させることが対策のポイントです。飼養衛生管理基準を遵守し、手指消毒や踏込消毒槽を用いた長靴消毒を励行し、農場にウイルスを持ち込まないように努めましょう。逆性石鹼や塩素系等、通常農場で使用される消毒薬が有効です。この際、消毒効果を保つために、糞などの有機物の混入を防ぐことや、適正な濃度で使用する事が重要です。

新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで広がるのか、今後も予断を許さない状況ですが、「病原体を持ち込まない」「病原体を広げない」ことについて、畜産農家や関係者の皆さんは経験豊富なベテランです。人も家畜も健康で過ごせるように気を付けて、コロナショックを乗り切っていきましょう。

(岡山家畜保健衛生所)

## 畜産研究所から明日へつながる系統を！

### はじめに

畜産研究所では、産肉能力の優れた和牛を基幹種雄牛として選抜確保し、凍結精液の生産と配布を行うとともに、繋養中の優秀和牛雌牛及び超高能力乳用牛から採取した受精卵を活用し、本県の肉用牛及び乳用牛の改良増殖を図っています。ここでは、当研究所で繋養中の基幹種雄牛及び受精卵供給可能な供卵牛の紹介をします。

### 基幹種雄牛

表1に基幹種雄牛3頭の概要を紹介します。いずれも、発育・体積に優れた高能力な種雄牛ですので、繁殖雌牛の改良や肥育素牛生産にご利用ください。また、これら以外にも、価格の安い候補種雄牛の精液もありますから、酪農家のF1生産にもご利用いただけます。

表1 基幹種雄牛3頭の概要

種雄牛名	血統			第51回育種価ランク			特長
	父	祖父	曾祖父	枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑	
美恵茂	茂洋	勝忠平	茂波 (事業団)	A1	A1	3%	○抜群の脂肪交雑、高い枝肉重量・ロース芯面積 ○脂肪の質が良く(オレイン酸が高い)、小ザシ ○波系の血液が濃く、交配しやすい
新岡光81	茂洋	平茂勝	北国7の8	3%	A1	5%	○質量どちらも抜群の能力 ○家畜改良事業団評価も高く、全国に精液販売中 ○産子は大型傾向、産子平均価格も市場平均以上 (R2.7子牛市：去勢)
藤沢茂	沢茂勝	藤平茂 (事業団)	北国7の8	A1	3%	B2	○枝肉重量、特にロース芯面積が高能力 ○家畜改良事業団を通じて全国に精液販売中 ○産子は体型安定、産子平均価格も市場平均以上 (R2.7子牛市：去勢)



美恵茂

新岡光81

藤沢茂

### 和牛供卵牛

和牛では、産肉能力育種価上位の牛を中心に採卵を行っています。現在繋養中の上位牛は表2のとおりですが、「ふくひさ」産子10頭の脂肪交雑は、平均BMSNo.が8.8、うち5頭が10以上と優れた産肉成績を期待できる雌牛です。次の「ひろはつはな」は4頭の枝肉成績から枝肉重量平均が561.4kgと増体に優れ、全頭A-5等級と質と量を

期待できる雌牛です。「第3としひめ」は、父が北盛栄、祖父が沢茂勝、曾祖父が利花と、平成の岡山和牛を支えてきた基幹種雄牛からなる雌牛で、令和イチオシ基幹種雄牛の美恵茂との交配産子の枝肉成績において、BMSNo. 12 を記録するなど今後も活躍が期待できる雌牛です。「8さわひめ2」は、産子7頭の平均BMSNo. が9.0であり、枝肉重量も平均 521.1 kg と質量兼備の雌牛です。

表2 岡山県繋養 和牛供卵牛成績

名号	登録番号	供卵牛の系統			第51回育種価			
		父	祖父	曾祖父	枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑	BMS順位
ふくひさ	黒原1493345	安福久	平茂勝	安福165の9	C	B1	1%	52
ひろはつはな	黒2421010	茂洋	千代桜	糸藤	A1	3%	3%	83
第3としひめ	黒2494281	北盛栄	沢茂勝	利花	C	B1	3%	104
8さわひめ2	黒原1410727	百合茂	平茂勝	北国7の8	3%	A1	5%	172

### 乳用牛供卵牛

当研究所の乳用牛は、近年では北海道から導入したゲノミック評価の高い雌牛や輸入受精卵産子を中心に受精卵を採取し改良を進めています。能力評価においては北海道の牛が上位を占める中、経産牛では、全国の検定牛のうち総合指数（NTP）が算出できる約14万頭のうち52位に入るものを繋養し、未經産牛では約3万頭中上位1000位に入るものが4頭います（表3）。これらの牛の特徴を活かしながら、より早く、より進んだ改良を目指し、採卵を行っていきます。

表3 岡山県繋養 乳用牛供卵牛成績

#### ◎乳用牛評価報告(経産牛)2020年2月公表

採卵予定等は9月時点

順位	登録番号	名号	特徴	総合指数
52	1407270799	OAC キヤロットケイ ヨダー キリス ET	産乳成分、乳器形質が高い	R3.4月頃

#### ◎未經産GNTP(ゲノミック評価成績)2020年2月公表

採卵予定等は9月時点

順位	登録番号	名号	特徴	総合指数	採卵予定
36	1354972012	OAC キリス ハイヌンキルア キヤロットK ET	ほぼ全ての指数・形質が高い	3,752	授精中
50	1600872127	OAC セツフ モトヤ セツフ	産乳成分が高い	3,687	未定
638	1600872226	OAC リラ ローリエイト エクスプローション ロア ET	産乳成分、繁殖形質が高い	3,045	未定
789	1354972036	OAC キヤロン モトヤ キヤスト チャシイ ET	乳量、疾病繁殖形質が高い	2,968	授精中

### おわりに

今回紹介した牛以外にも様々な特徴を持った種雄牛、供卵牛がいますので、精液及び受精卵の譲渡を希望される方、興味を持たれた方は、お近くの家畜保健衛生所、県民局または畜産研究所にご相談ください。  
(畜産研究所)